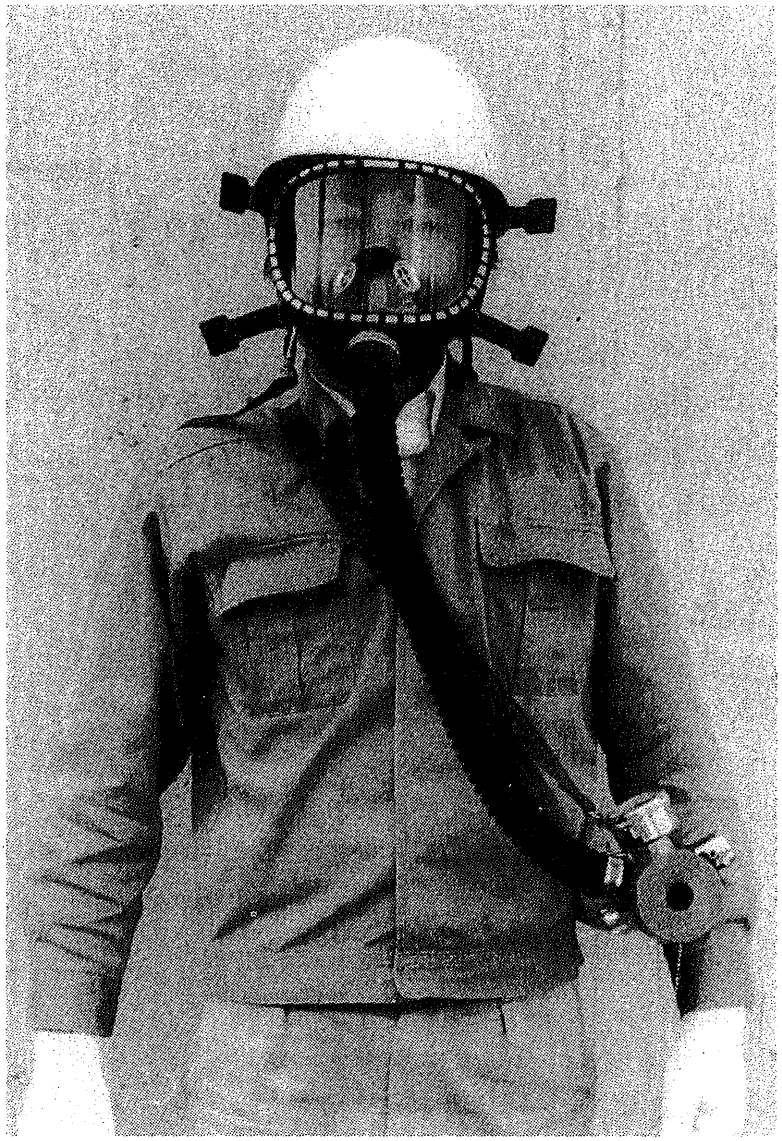
LIFE GEM

ライフゼム2型空気呼吸器
取扱説明書



■ 正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■ 取扱説明書は、必ず保存してください。なくされたときは、代理店にお申しつけください。

ライフゼム２型は、工場、火災現場などにおいて、酸素欠乏空気、人体に有害な粉じん、ガス、蒸気などを吸入するおそれがあるときに使用するデマンド形空気呼吸器です。

その他の用途には使わないでください。

＜本文中の表示について＞

「警告」・「注意」の表示は特に重要な部分ですので必ず守ってください。

⚠ 警　告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注　意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

この呼吸器を日本国外で使用される場合は、保証対象外となっておりますので、購入代理店までお問い合わせください。

＜安全に正しくご使用いただくために＞

呼吸器を安全にご使用いただくため、下記の注意事項を守ってください。誤った取扱いをされた場合、着装者の生命が危険な状態にさらされることになります。

⚠ 警　告

＜使用について＞

- 呼吸器の手入れには油脂類を使用しないでください。燃焼することがあります。
- 使用前には必ず「着装前の点検」（**２．１項参照**）を実施し、異常のある場合には使用しないでください。
- 鼓膜の破れた方は使用しないでください。気密が保てません。
- 改造、分解はしないでください。正常な機能や安全を確保できません。
- メーカー純正部品を使用してください。純正部品以外の部品を使用すると、正常な機能や安全を確保できません。

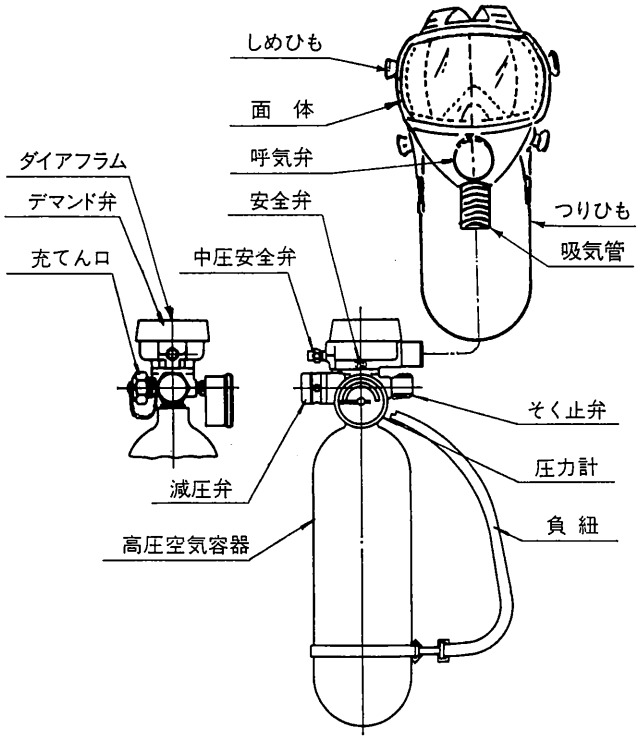
＜使用環境について＞

- 水中では使用できません。生命に危険があります。
- 70℃以上または－20℃以下の環境では使用できません。使用する場合は、呼吸器に対する部分的あるいは全面的な防護が必要です。

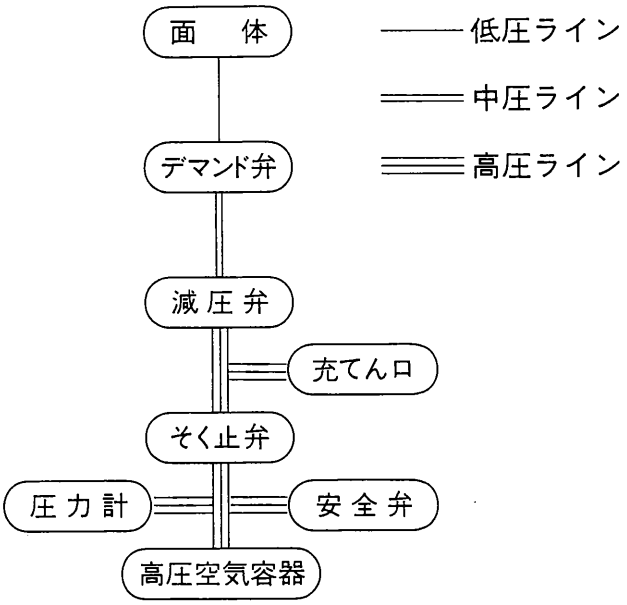
＜退避について＞

使用中に以下の状態になったときは、直ちに安全な場所に退避してください。これを無視すると、安全に避難できません。

- 残りの空気量が、安全に避難するのに必要な空気量に減ったとき。
- 呼吸器の異常により呼吸が苦しい、または、環境空気の流入を感じたとき。
- 体調の異常を感じたとき。



各部の名称



系　統　図

1．購入時の確認事項

(1)　収納品の確認

収納品は下記の通りです。損傷や部品の不備がないかを確認してください。お気づきの点がございましたら、代理店までご連絡ください。

本　体 …… 1
取扱説明書(本書) …… 1
説明書(高圧ガス容器の所有者氏名等の表示について) …… 1
トランクケース …… 1

(2)　高圧空気容器（ボンベ）の所有者氏名の表示

高圧ガス保安法　容器保安規則の規定により、容器に所有者の氏名などを表示することが義務づけられています。説明書（高圧ガス容器の所有者氏名等の表示について）にもとづいて所有者氏名を表示してください。

2．使　用　法

2．1　着装前の点検

呼吸器を使用する前に、次の点検を実施してください。

⚠ 警　告

- 異常があれば、使用しないでください。直ちに修理を依頼してください。事故の原因となります。

① 吸気管はデマンド弁に確実に取付けられていることを確認してください。
② 各部に損傷がないことを確認してください。
③ 吸気管、面体、しめひものゴム部分の老化（粘着、亀裂など）、アイピース、しめひも取付具などに破損の箇所がないことを確認してください。
④ 呼気弁は正しく取付けられており、損傷や異物の付着がないことを確認してください。

＜呼気弁点検要領＞

呼気弁カバーを取外して、弁シートと呼気弁との間にゴミなどが付いていないことを確認してください。

※1．面体内側からも点検してください。

※2．点検は目視で行い、指やドライバー等で呼気弁を持ち上げたりしないでください。点検後、呼気弁カバーを取付けてください。

⑤ 圧力計の指針が12～14.7MPa {122～150kgf/㎠} を指していることを確認してください。

2．2 着装方法

(1) 負紐を肩に掛けてください。
(2) そく止弁のハンドルを、軽く止まるまでゆっくり全開してください。
(3) 面体を下記の順序で着装してください。
① つりひもを首にかけてください。
② しめひもをゆるめてください。
③ 面体を顔にそわせて、あごの方からかぶってください。このとき、接顔部に髪の毛をはさみ込まないように注意してください。
※ 面体を頭の方からかぶらないでください。面体のゴム部分がいたみやすくなります。
④ しめひもを締付けてください。
※1．ヘルメットをしたままでは、面体は着装できません。ヘルメットを脱いでから、面体を着装してください。
※2．眼鏡をかけたままで、面体をかぶらないでください。気密が保てません。
(4) 面体の気密検査を行ってください。
① 吸気管を強く握りしめて閉塞し、頭を上下、左右に動かしながら、強く及び弱く吸気し、面体が顔に密着すれば気密は良好です。

⚠ 警 告

- 漏れがある場合には、面体をかぶり直してください。それでも、漏れがある場合には、使用しないでください。

② 2～3回強く呼吸して、スムーズに呼吸できることを確認してください。

⚠ 警　告

● 呼吸したとき異音がする、苦しい等の異常があれば、使用を中止し再点検を行ってください。事故の原因となります。

2．3　使用中の注意事項

(1)　使用時間は約７分です。使用開始前のボンベ圧力、使用状況（活動の程度）によってさらに短くなることがあります。圧力計を見てボンベ圧力を確認し、残圧に注意してください。

⚠ 警　告

● ボンベ圧力に余裕のない退避はしないでください。事故の原因となります。

(2)　呼吸が苦しい場合は、ダイアフラムを指で押して空気を補給するとともに、安全な場所に退避してください。

⚠ 警　告

● 呼吸が苦しい場合、面体を外さないでください。有害なガスを吸うおそれがあります。

(3)　体調の異常（めまい、吐き気、寒気、呼吸困難、発熱、目への刺激など）を感じたときには、安全な場所に退避してください。

2．4　脱装方法

①　しめひもをゆるめ、面体を外してください。
②　そく止弁を閉じてください。
③　呼吸器を降ろしてください。
④　ダイアフラムを指で押し、デマンド弁内に溜まった圧力を抜いてください。

⚠ 注　意

● 呼吸器を投げたり、落としたり、強い衝撃を与えたりしないでください。故障の原因になります。

2．5　使用後の手入れ

使用後は面体の洗浄、消毒、空気充てん等を行った後、点検を行ってください。

⚠ 警　告

- 呼吸器の手入れには油脂類は使用しないでください。燃焼することがあります。
- 損傷や異常があるものは、修理を依頼してください。放置したり、再使用しないでください。

① 面体は、水で湿らせた柔らかい布で汚れをふき取り、風通しの良い日かげで乾燥させてください。

⚠ 注　意

- 直射日光、ストーブなどのそばで、乾燥させないでください。ゴム、プラスチック部品を劣化させます。

② 面体の消毒は、消毒用アルコールを柔らかい布につけてふいてください。
※ 消毒用アルコール以外の薬品は使用しないでください。

③ 面体以外の汚れた部分は、水で湿らせた柔らかい布で汚れをふき取ってください。

④ ボンベの充てんを依頼してください。充てんは、4項の「ボンベの充てん」にもとづき実施してください。

⑤ 2.1項の「着装前の点検」を行ってください。

3. 保守管理

(1) 点検、整備を行った呼吸器は、次の確認をしたのち、ケースに収納してください。
- そく止弁が閉じていること。
- ダイアフラムを押してデマンド弁内に圧力が残っていないこと。

(2) 直射日光の当たらない40℃以下の場所で、ほこりの少ない、できるだけ乾燥した場所に保管してください。

(3) 少なくとも6ヵ月に一度は、ボンベ圧力、面体の呼気弁および呼吸器の作動を、2項の「使用法」にもとづき点検してください。異常のあるものは修理を依頼してください。

(4) 下記の事項について注意してください。

① ボンベおよびそく止弁の再検査

ボンベの製造年月、再検査年月より起算して3年を経過していれば、充てんの前に法律で定められたガス容器検査所に再検査を依頼してください。尚、この検査の有効期限が切れたものは、再充てんができません。

② 吸気管、面体などのゴム部品で、購入後１年以上経過したものは、亀裂、粘着、変形など外観上の異常がないか点検してください。異常のあるものは、速やかに交換を依頼してください。

③ 呼吸器の損傷程度は、使用の頻度、使用後の手入れ、保管状態により差がありますが、購入後３年毎に、メーカーにオーバーホールを依頼してください。
尚、器械の修理できる期間は、製造年月から起算して15年です。

4. ボンベの充てん

(1) 充てんは次に示す空気を充てんするよう、充てん所に依頼してください。

項　　目	基　準　値
酸　　素　vol　%	20 ～ 22
二酸化炭素　vol　ppm	1000 以下
一酸化炭素　vol　ppm	20 以 下
水　　分　vol　ppm	667.8以下
オイルおよびオイルミスト	着色が認められないこと
臭気ときょう（夾）雑物	においが無く、ちり（塵）、汚物、金属粒子などが混入しないこと

(2) 充てん口袋ナットは、パッキンが入っているかどうかを確かめた後、確実に締付けてください。

5. 主 要 諸 元

ライフゼム２型空気呼吸器の主要諸元は次の通りです。

機　　種		２型
種　　類		デマンド形
使 用 ガ ス 名		空　　気
使　用　時　間※1		約７分
ボンベ	内　容　積	２ℓ
	最高充てん圧力	14.7MPa {150kgf/㎠}
質　　量		約6.2kg
面 体 の 種 類		デマンド形面体

※１．呼吸量（分時換気量）が約40ℓ/minの作業の場合を示します。

製　造　元

エアウォータ防災株式会社

総発売元

株式会社 重松製作所

本　　社	〒101-0021 東京都千代田区外神田3-13-8	TEL 03 (3255) 0255	FAX 03 (3255) 1030
北海道営業所	〒065-0007 札幌市東区北七条東13-2-11	TEL 011 (743) 6001	FAX 011 (743) 6005
東北営業所	〒984-0015 仙台市若林区卸町4-3-8 バイパス斉喜ビル	TEL 022 (235) 7733	FAX 022 (235) 7736
東京営業所	〒114-0023 東京都北区滝野川3-58-8	TEL 03 (3915) 8081	FAX 03 (3917) 6233
北関東出張所	〒360-0032 埼玉県熊谷市銀座3-56-1 K'sタワー2F	TEL 048 (529) 7566	FAX 048 (529) 7557
千葉営業所	〒260-0842 千葉市中央区南町3-4-5	TEL 043 (261) 0110	FAX 043 (263) 2203
横浜営業所	〒220-0072 横浜市西区浅間町2-95-3 ハイツ・ラ・ヴィスタ1F	TEL 045 (314) 0921	FAX 045 (314) 6355
上越営業所	〒942-0061 新潟県上越市春日新田1-6-3 日建不動産ビル2F	TEL 0255 (45) 4350	FAX 0255 (45) 4370
名古屋営業所	〒456-0013 名古屋市熱田区外土居町9-14 トキワ外土居ビル	TEL 052 (682) 4798	FAX 052 (682) 0404
大阪営業所	〒535-0031 大阪市旭区高殿6-15-19	TEL 06 (6953) 8521	FAX 06 (6951) 4934
姫路営業所	〒671-2244 姫路市実法寺297-1	TEL 0792 (67) 6788	FAX 0792 (67) 6787
岡山出張所	〒712-8032 岡山県倉敷市北畝6-18-54	TEL 086 (450) 2221	FAX 086 (450) 2400
広島営業所	〒731-0138 広島市安佐南区祇園3-46-5	TEL 082 (871) 5510	FAX 082 (871) 5366
四国営業所	〒792-0871 愛媛県新居浜市八幡1-15-25	TEL 0897 (33) 8666	FAX 0897 (34) 8191
九州営業所	〒812-0011 福岡市博多区博多駅前1-20-18	TEL 092 (431) 1265	FAX 092 (481) 5169
長崎出張所	〒851-2128 長崎県西彼杵郡長与町嬉里郷1140-1	TEL 095 (883) 1713	FAX 095 (883) 3450

改良のため仕様の一部を変更することがあります。

61112-10001-6-0805